

伊藤先生の
街かど診療室
Q & A

眼窩底骨折について

聞きなれない病名ですが、眼科領域の外傷に多い疾患です。

ボール競技(サッカー、野球など)や格闘技(ボクシング、柔道、喧嘩など)、器械体操による自分の膝などで目を強くぶつけた際に、眼球を取り囲んでいる骨(眼窩)が折れて(割れて)しまう状態を眼窩底骨折(眼窩吹き抜け骨折)といいます。

聖隷浜松病院などがこのように鼻側から下方の治療に特化しているため、手術は、はさまった筋肉や脂肪組織を引き上げて骨折部位を修復しますが、吹き抜けた部位が大きい場合は、パルーンを挿入したりシリコンプレートを挿入して、組織が固定された後に引き抜きます。この手術による傷は特に目立ちません。

もし、目をぶつけて上記の症状が出た際の参考にしてください。

治療は眼科もしくは形成外科での手術となります。専門性の高い機関では、眼球運動と骨折部位の修復を定量的なから治療します。眼科領域では、昭和大学病院

伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は林診
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先



	月	火	水	木	金	土	日
9:30 ~ 12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00 ~ 17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／